

東寺方複合施設の整備に向けた地域協議会

児童館に関する これまでの意見について part 2

発表者：池埜



もくじ

① 児童館に対する考え方

② 児童館機能で求められること

③ レイアウトについて

④ まとめ

① 児童館に対する考え方

多摩市の「児童館の今後のあり方基本方針」と地域住民の児童館に対する思いとの違い

【市の考え】

少子化だけではなく、本格的な人口減少社会を迎え、行政においても人的・物的資源に限られるなか「児童館の今後のあり方基本方針」に示した児童館に再編していく必要があると考え、特色ある自然環境で敷地の広い愛宕児童館をアウトドアに特化した基幹となる児童館に改修し東寺方児童館と統合、児童センターとし、東寺方複合施設では子どもの居場所を確保しながら移動児童館を展開していく方針。

【地域住民・保護者の考え】

アンケート結果からも地域の保護者は『児童館』の継続を望んでいる。

この地域の人口は増えている。

児童館でなくなった際の子どもたちの『居場所』は確実に確保できるのか？

できるだけ今に近い形で運営していただきたい。

放課後子ども教室が週5日となる予定ではあるものの空き教室問題や猛暑の中で遊ぶ場所が限られる中『居場所』が減ってしまう不安。(来年度中に多摩市内小学校体育館に空調が整備される予定)

現在児童館で遊んでいる子どもたち・保護者は児童館という居場所に安心感を感じている。

子どもたちの『遊び』はその日に決まるため、その日遊ぶ人、遊ぶことで『場所』をチョイスできる環境は用意しておく必要がある。

東寺方から愛宕まで通う道のりにも不安を感じる。

児童センターができることは賛成だが、東寺方にも児童館は必要なのではないか。

8月に行われた報告会の内容とお互いの意見はほぼ変わらない

多摩市の子育て世代に 向けた支援まとめ



第一子から保育料 無償化

幼稚園・保育園・こども園保育料無償化に
なったことで仕事をしている方も増加。



放課後子ども教室

- 東寺方小で今年度より開始
- 週5、長期休み中も実施
- 夕方5時まで

就労の有無に
関わらず
利用できる

誰でも通園事業

就労の有無に関わらず、
未就園の子どもを預けられる

就労の有無に
関わらず
利用できる

各園での 子育てひろば

各園により内容や開催してい
る間隔などは異なる

就労の有無に
関わらず
利用できる

リフレッシュ時保育

通院や用事を済ます間預けることが
できる。
各園に申込。面接。

就労の有無に
関わらず
利用できる



☆予防接種

定期接種の種類増加
自己負担なく受けられる。

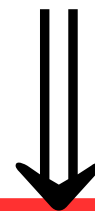
☆学童

学童施設の増築など受け入れ児童数
を増やす努力

☆給食無償化

二年前より無償化になった

というように子育て世代への支援を行い
子育てしやすい環境を作っている。



= 東寺方児童館がなくなって良い
とはならないのではないかと

① 児童館に対する考え方

東寺方コミュニティー会館に児童館を存続させるべき理由

- ①10年前に5,030筆の署名が集まり児童館存続を陳情趣旨採択されている。
- ②東寺方複合施設を良くする懇談会、パブリックコメント、保護者アンケートなどから地域住民からの存続の要求が強い。
- ③東寺方の人口は増加しており、現状を考えるとデータ上で考えた場合という意味で愛宕児童館を移動児童館とするべきではないか？
⇒④愛宕児童センターができることは賛成であり完成を楽しみにしています。
- ④愛宕児童センター（アウトドア特化館）の全貌が見えない、中身が白紙の状態であるためこの状態で東寺方児童館を廃止とするのは本当に地域の子どもたちのことを考えているのか？疑問である。
愛宕に児童センターができる = 東寺方児童館は廃止とはならないのではないか。
- ⑤基本方針通りに進めることが地域のためになるとは思えない。

② 児童館機能で求められること

子どもたちの放課後の過ごし方・求められることは？

①遊ぶ仲間・場所・遊び方 → その日その時に決まる

選択肢を減らしてはならない

②児童館で遊びたい子たち → 大人に見守って欲しい

『いつもの大人』『わかってくれる大人』が常にいることが重要

③子どもたちが遊び場に求めること → **安心感**

**『いつもの大人』『わかってくれる大人』が常にいることが重要
わかってくれる人がいるからこそその安心感がある。**

④何かあった時に相談できる・対応してくれる → **安心感・信頼**

専門性のある人材が見守ってくれることも重要

③ レイアウトについて

①全体のレイアウト

コミュニティー会館全体のレイアウトを考える上で、『児童館（子どもの居場所）』がどのような形になるのか？は非常に重要事項である

②カフェ機能

子どもたちの交流の場として、そして保護者同士の交流の場としてカフェのように自由に過ごせる空間は欲しい。

③地域の大人とも交流のできる空間

**おじいちゃん、おばあちゃんと同居しているご家庭は少なく、異世代の方と接する機会が減っている。
接する機会が生まれるレイアウトが良いのでは？**

④学習できるスペースの確保

**特に中学生以上の学習スペースがあると良い。
小学生も宿題を終えて遊べると保護者も助かる。**

④まとめ

- 前回の報告会同様、市と地域住民・地域の保護者の『児童館』に対する思いに相違がある。
- 現在の保護者の働き方、生活スタイルの変化はある。そして、多摩市も子育て世代に向けて支援は行っている。しかしそれが『児童館を廃止してよい理由』にはならないということ。
- 愛宕児童館が児童センターになることは大変期待しているが、東寺方児童館がなくなり移動児童館になることへの不安がある。(こちらも前回と同じ)
- レイアウトを考える上でも『児童館』がどのような形になるのか？がとても重要であるということ。



**この地域のすべての子どもたち、そして地域住民が
利用しやすい施設になるよう協議会に参加していきたいと思います。**

お聞きいただきありがとうございました。

児童館を利用する保護者代表

